

視 察 報 告

会議の名称	西東京市行財政改革推進委員会 小・中学校視察（第12回委員会）
開催日時	平成13年11月15日（木） 午後1時から午後3時まで
開催場所	柳沢中学校、柳沢小学校
出席者	箱崎委員長 松山委員 高梨委員 倉本委員 坂井企画部長 尾崎企画課長 神作主幹 伊佐美主査
質問事項	別添のとおり

## 柳沢中学校

**Q 1 中学校での一番大きな問題は何ですか。**

A 1 生活指導上の問題です。学校内で暴れるなどの問題が西東京市 9 校中 7 校くらいはあ  
ると思う。その多くは 3 年生である。

**Q 2 学級崩壊は起きていますか。**

A 2 正確にいうと学級崩壊とは、クラス運営全体の崩壊を指すので、教科により教師が変  
わる中学校ではないと思いますが、教科によっては、教師により授業が成り立たないで  
あるとか、授業中ざわついているという問題はある。

**Q 3 学校荒廃の原因は、何ですか。**

A 3 一つには、卒業生のうち卒業後非行に走っている者が在校生を誘って非行に導いてい  
るという一面があります。二つには、そういった事態に対する教師の使命感。三つ目は、  
地域との連携不足かと思います。学校が地域に対し働きかけて地域の人材と連携して対  
処する必要があります。

**Q 4 荒れている中学校の現状に対して、家庭・行政・地域のとるべき手段は何ですか。**

A 4 家庭での基本的しつけ教育が十分でないことのつけが、学校に回されている感じがあ  
る。基本的しつけについてまで、学校にお任せといった風潮があります。こういう環境  
を変えていく必要があると思います。

**Q 5 小学校から中学校への進学に際しての私立・公立の比率はどれくらいですか。**

A 5 小学校卒業生の約 10% は私立中学に進学しています。

**Q 6 少子化の影響はどの程度ですか。**

A 6 激減ということはありませんが、確実に少しずつ減少していると思います。

\* 柳沢中では、現在全校で 12 クラスだが、昨年は 13 クラス、3 年前は、14 クラ  
スであった。

**Q 7 少子化による学校維持上の課題は何ですか。**

A 7 子どもが減ると教員数の減少（現在柳沢中では、校長、教頭を含めて 21 人）につながり、運営は難しいものとなってきます。今後学校選択性の導入が本格化すると魅力ある学校づくりという課題に取り組む必要があると思います。

**Q 8 校舎の修繕は、十分なされていますか。**

A 8 学校の非行の状況により異なるものと思われますが、柳沢中の場合は、通常の修繕については、予算内で間に合っています。

**Q 9 教育長は、学校にきますか。**

A 9 校長会や各種行事の際に来られるので、教育長との連絡は十分取れていると思います。

**Q 10 今、校長の課題は何ですか。**

A 10 14 年度から始まる新しい指導要領による教育過程が課題となっています。完全に週 5 日制となり、学習時間が 1,050 時間から 900 時間となります。同時に「総合学習の時間」というものが導入され、どのように授業を進めていくべきか悩んでいます。

**Q 11 校内の人事について、校長自身の判断で行えますか。**

A 11 柳沢中では、校長が自分の判断で校内人事（例えば生活指導・教務指導・進路指導の主任の任命）を行っています。

**Q 12 40 人学級についてどうお考えですか。**

A 12 個人的には、35 人から 40 人くらいが適当ではないかと思っています。少なければ少ないほどいいとは思いません。

**Q 13 中学校給食導入についてはどうお考えですか。**

A 13 中学校給食の導入については、個人的には躊躇しています。教師に給食指導という新たな負担を加わることで、教師が疲れ果ててしまうことを危惧しています。親は、概ね給食に賛成だと思いますが、お弁当を作らなくてもいいという手抜きの意識がないとはいえません。

## 柳沢小学校

**Q 1 学級崩壊という問題は、起きていますか。**

A 1 柳沢小では、特に起きていません。ただし、最近では、低学年のクラスの指導もかつてと違い難しいものとなってきています。そういう意味では、家庭での問題が、学校教育に与える影響は大きいと思います。

**Q 2 生徒数、教員数はどれくらいですか。**

A 2 各学年2クラスずつで全部で12クラスあり、生徒が395人います。教員は、18人です。

**Q 3 現在校長の課題はなんですか。**

A 3 指導要領が変更になりますので、そのことへの対応があります。

**Q 4 生活指導上の課題はなんですか。**

A 4 最近の子どもは、基本的な生活習慣が身につけていないことがありますから、家庭と協同してこの問題を解決する必要があると思います。

**Q 5 校内人事について、校長の指導性は発揮できますか。**

A 5 都の学校管理運営規程ができており、柳沢小では校長の判断でやっております。

**Q 6 学校選択性の導入については、どう考えていますか。**

A 6 小学生の場合は、家からの距離や友人関係などから学校を決めることが多いと思いますので、それほどの変化はないと思いますが、学校に活力を与えるようになっていくことにはなると思います。

**Q 7 授業にボランティアを使うようなことはやっていますか。**

A 7 学習補助のボランティアについてはやっておりません。しかし、地域の方にゲストティーチャーとしてお話しってもらうことや、チームティーチングを5年生の算数の授業に導入しています。

**Q 8 設備上の要望はありますか。また、修繕は十分なされていますか。**

**A 8** 部分的に雨漏りする部分もありますので、建て替えできればそうしたいです。

また、校舎全体に温かみのある感じがほしいと思ひまして、例えば、廊下の途中に子どもたちが座って話ができるようなスペースを設けたり、教室の黒板を移動式（現在は全学年一律の高さで固定）にしたいと思ひます。

修繕については、教育庶務課の対応は早い方ではないかと思ひます。

**Q 9 保護者との対応で何か問題はありますか。**

**A 9** 近年保護者は変化してきており、なかなか学校や教師の言うことに素直に従ってこないようになってきております。

また、教員の保護者との対応能力や社会常識の向上を目的として研修を行っています。